

『職人がいなくなれば日本が滅びる』

今こそ技能の伝承と人材の育成を

労働三法加入は必須条件

刊行についてのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、バブル崩壊から早いもので、すでに二十数年近くが経過しました。この間は「失われた二〇年」の言葉に象徴されるように、日本経済は長く低迷が続き、建設産業界も建設投資の急激な減少と行き過ぎた市場原理主義の影響でダンピングが横行、結果として元請・下請を問わず疲弊してしまいました。政権交代等もあり、ようやくデフレからの脱却の兆しが見え、建設投資も上向きに転じたものかかわらず、建設産業界は手放しでは喜べません。むしろ技能工不足という深刻な事態を迎えています。しかも高齢化が加速する一方で、若年者の入職が少ないという状況にあり、このままでは将来の現場の担い手がいなくなるという恐れがあるのです。遅きに失したとはいえ、ここに来て行政をはじめ建設産業に携わる者すべてが、事態の深刻さを理解し、技能工の待遇改善に取り組み始めました。ただ、今回が本当のラストチャンスです。本書は専門工事業に携わる生の声を収録し、技能工の待遇改善に資することを目的に上梓しました。何卒、本趣旨をお汲み取りの上、ご協力、ご支援いただきますよう心からお願い申し上げます。

敬具

【本書構成】

第一章 「適正賃金の確保、処遇の改善 今やらなければ産業が崩壊する」インタビュー

／佐藤信秋参議院議員／佐藤直良前国交事務次官／有賀長郎日建連事務局長／才賀清二郎建専連会長

第二章 専門工事業の課題と取るべき課題

〈適正賃金の確保と社会保険未加入問題〉
社会保険未加入問題Q & Aを収録

第三章 専門工事業トピックインタビュー

日本型枠工事業協会 三野輪賢二会長／全国鉄筋工事業協会 内山聖会長／日本建設躯体工事業団体連合会 才賀清二郎会長／関根建設 関根久男会長

第四章 技能訓練・若手技能者育成の現状

富士教育訓練センター／広島建設アカデミー

第五章 経営者・技能者の声

- 地域の専門工事業が抱える課題と提言
- 技能の伝承について
- 現場で働くことの生きがいと夢 他

【発行日】平成二十六年四月十五日

四六版 二八九頁 定価一、六〇〇円（税・別）

平成二十六年六月

株式会社 建設人社

代表取締役 津田 靖志

〒一〇五―〇〇―一二二

東京都港区芝大門二―四―五

芝ダイヤ Heights 2F

TEL 〇三（三四三二）五四一一（代）

FAX 〇三（三四三二）五四七二